

外科手術のコンピュータ支援システム

aeroTAP (エアロタップ)!



www.aeroTAP.com

# 先進医療現場の必需品 aeroTAP (エアロタップ) タッチレスインターフェイス

aeroTAP for Medical は、先端医療情報システムのタッチレス化を支援します。術中における情報端末の操作をタッチレス化することで、滅菌性の維持や、移動しないで操作できるなど、術者のストレスの軽減という大きなメリットがあります。

- ✓ 非接触で安全、清潔
- ✓ 手袋の脱着が不要 / 術者のストレスの軽減
- ✓ 現在利用している PACS がそのまま使える
- ✓ 設置や運用が簡単
- ✓ 誰でも簡単に操作できる

## 医療画像アクセス支援

タッチレスで医療画像へアクセス

DICOMビューア等、既にお使いの各種医療アプリケーションをそのままタッチレス操作に移行できます。

また、DICOMデータや3D画像 (JPG、SWF) を aeroTAP 用ビューアに取り込むことで、サムネイルからの選択が可能です。



## 内視鏡手術支援

描画、ポインティング、オーバーレイ

腹腔鏡手術における、モニター画面を介したコミュニケーションの際、画面上でポインティング、マーカーの描画などの操作をタッチレスで行えます。腹腔鏡手術において迅速かつ正確なコミュニケーションを可能にします。

ドライボックスやシミュレータを使った教育用ツールとして、マウスでの操作も可能です。書き込んだ画像は記録として保存されます。



\* 本製品は、筑波大学附属病院消化器外科との共同開発により製品化されたものです。

aeroTAP, タッチレスインターフェイスは、株式会社ネクステッジテクノロジーの登録商標です。



## 外科手術のコンピュータ支援システム



### aeroTAP(エアロタップ)外科手術支援

近年の外科手術では、デジタル化が進み、コンピュータに保存したデジタルデータ(PACS、DICOMや、3Dモデル画像)を手術中に外科医が直接アクセスすることがあります。

aeroTAPを外科手術室のコンピュータ、または外科医が持ち込むコンピュータで実行することで、外科手術室でのタッチレス操作を可能にします。



### aeroDRAW(エアロドロー)内視鏡手術支援

aeroDRAW(エアロドロー)は、腹腔鏡下での手術を支援します。

腹腔鏡画像をリアルタイムで取り込み、術者や指導者によるアノテーションが可能になります。画面上に直接絵を描いたり、3D画像をオーバーレイ表示させることができます。

aeroTAPと併用することで、術者によるタッチレスでの腹腔鏡モニターへのポインティングや書き込みが可能です。



### タッチレス化による医療施設の院内感染リスクを減らす

医療施設のICT化に伴い、ナースステーションなど医療施設に設置されたICTシステムを介した院内感染リスクが高まっており、キーボード、マウス、またはタッチパネルなど従来のアクセス方法から、タッチレスインターフェイスへの移行が望まれています。

すべてのインターフェイスをタッチレスに移行する必要はなく、最も利用頻度の高い操作をタッチレス化することで院内感染リスクを効率よく軽減できます。

- ✓ナースセンター内の大型ディスプレイのタッチレス化と共有化  
タッチレス化することで、情報共有化の促進  
離れたまま操作可能
- ✓病床のバイタルモニター画面のタッチレス化  
画面切り替えなど頻繁に行う操作をタッチレス化することで  
感染リスクを軽減
- ✓ドアフォン画面の簡単操作  
応答など頻繁に行う操作をタッチレス化することで  
感染リスクを軽減



〈〈本件に関するお問い合わせ〉〉

株式会社ネクステッジテクノロジー  
TEL: 029-858-1126 FAX: 029-858-7510  
<http://www.aeroTAP.com>

aeroTAP、タッチレスインターフェイスは、株式会社ネクステッジテクノロジーの登録商標です。Microsoftは米国Microsoft Corporationの登録商標です。Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。Macromedia®Flash™、Flash Lite™は、Adobe System, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。